

送辞

陽の光やそよ吹く風の暖かさに、春の訪れを感じる季節となりました。

本日晴れてこの山梨大学を卒業し、新たな未来への一步を踏み出される卒業生及び修了生の皆様、誠におめでとうございます。在學生を代表しまして、心よりお祝い申し上げます。

数年前、新生活への期待と不安を抱きながら迎えた入学式。あの日から、皆様はたくさんのお出会いと経験をされたことと思います。卒業式を迎えた今日、自然や伝統、人と人との関わりの豊かなこの山梨の地で学んだこと、友人との思い出の一つ一つが懐かしく思い出されることでしょう。

私たちが在學生は、学業、部活動、サークル活動など様々な場面を通して先輩方の姿を見てきました。先輩方は、常に物事に全力で取り組み、成長していく背中では、私も同じように頑張ろうと努力するきっかけを与えてくださいました。学業の他にも日々先輩方と接する中で共に笑い、共に考え、共に成長する。そんな先輩方は心の支えであり、憧れの存在でした。私たちが在學生は、先輩方への感謝と尊敬を忘れずに、皆様が卒業した後もこの山梨大学の伝統を引き継ぎ、後に続く後輩たちの手本となれるよう、尽力していきます。

さて、昨年5月に「令和」という新しい時代が始まりました。嬉しいニュース、残念なニュースが多くあった一年でした。嬉しいニュースの一つに、昨年2019年に吉野彰さんが、リチウムイオン電池の開発でノーベル化学賞を受賞されました。吉野さんの言葉の一つに「ムダなことを沢山しないと新しいことは生まれてこない。」「好奇心に基づいて、新しい現象を見つけることを一生懸命やる。」という言葉があります。この言葉は研究だけでなく、仕事、勉強、スポーツ、恋愛、私生活にも通じるものがあります。皆様は、これまでいくつもの困難に立ち向かってきたと思います。これから先も困難が多々あることでしょう。しかし、無駄だと思ふことにも一生懸命取り組み、自分自身を信じて未来を切り拓いていってください。その先に新しい発見が待っていると思います。先輩方は、この山梨大学で学んだことを糧に、新しい世界でさらにご活躍することと思います。私たちが在學生も、皆様と共に新しい発見ができるよう、日々努力していく所存です。

最後になりますが、本日卒業・修了される皆様に、心よりの感謝とお祝いを申し上げますとともに、新たな門出に際し、皆様のご健康と更なる飛躍を心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

令和二年 三月十九日

山梨大学 在學生代表

教育学部 生活社会教育コース 藤田あかり